



大阪商船三井船舶の高速定期貨物船こりんと丸。三井造船玉野造船所で3月24日竣工。11,371重量トン，最高速力22.7ノット。

大阪商船三井船舶の高速定期貨物船きゆうそー丸。三菱重工神戸造船所で2月26日竣工。11,571重量トン，最高速力22.8ノット。

世界の艦船 4月号(通巻第152号) 目次

【表紙】 神戸港を訪れたオランダ海軍フリゲイト「ファン・スペイク」……………写真提供・市栄 正樹

本艦は僚艦ファン・ガレンとともに3月27日，大阪に入港し，30日神戸港に係留替えて，6日まで在泊したが，写真は4月6日，シドニーに向けて神戸を出港中の光景である。オランダ海軍にはこの型の汎用フリゲイトが都合6隻就役しており，いずれも1967～68年に竣工した新鋭艦である。

写真頁

▶【カラー写真集】 トリシュル，ハンゼアティック……………	1
▶射撃訓練中の護衛艦……………	7
▶掃海艇“うとね”進水……………	8
▶VDSを新設した護衛艦“やまぐも”“まきぐも”……………	8
▶防衛庁技術研究本部の hidrofoil 実験艇「はやて」完成……………	9
▶海上保安庁の新造巡視船艇——みなべ，さぎり……………	10
▶大阪に来航したチリーの帆装練習艦「エスメラルダ」……………	11
▶大阪に来航したオランダ海軍フリゲイト「ファン・スペイク」と「ファン・ガレン」……………	12
▶近着のソ連艦艇写真から……………	14
▶思い出の日本軍艦……………	
I. 高雄型巡洋艦……………木村信一郎……………	16
II. 巡洋艦利根……………仁礼……………	20
▶ニュース・フラッシュ……………	24
▶工事成った海上自衛隊の昭和44年度計画支援船……………	28

▶日本近海を遊弋するソ連軍艦……………	30
▶写真・イタリア駆逐艦史（第12回）……………阿部 安雄……………	34
▶【写真シリーズ：世界の客船】 エルネスト・アナスタシオ……………	71
▶造船所だより……………	72
▶海外客船往来……………	76

本文記事

■海上自衛隊・海上保安庁艦船の動向……………	39
■海上自衛隊ニュース……………	46
★ hidrofoil 実験艇「はやて」について……………丹羽 誠一……………	50
★世界客船界の展望 1969～70……………野間 恒……………	52
★【海戦史を漁る】 ナルヴィク の海戦……………木俣 滋郎……………	58
★ 鶯色の襟章——海軍造船官としての10カ年——(3)……………堀 元美……………	64
★海軍砲術史話——豊島沖の海戦——……………黛 治夫……………	79
■イタリア水雷艇要目表（その5）……………	87
★更生した元海上自衛隊のLSSL……………石橋 孝夫……………	88
■英海軍のヘリコプター巡洋艦『ブレイク』について……………	90
■読者交歓室……………	94
■編集後記……………	94

■春日ハンカチーフ 200円
万博イタリア館に“旧海軍海防艦春日”の模型が展示されております。

■乗艦記念ペナント 200円
(きくづき用)

■かとりペナント 200円

■ミニバック ながつき。150円

代金切手でお送り下されば急送いたします。

東京都港区芝浜松町 1-9

日信企画 TEL(431)4015・4320

統合幕僚会議議長・前海上幕僚長 海将 板谷 隆一著

左警戒右見張

日本の運命の岐路となるであろうといわれる1970年代は，左翼を警戒し右翼を見張らなければならない——というのが本題名ではない。著者が海軍人として，海上自衛官として過ごした半生の歩みのなかから生まれた切々たる国を思う心が，さりげなくたんたと語られ，読む者に深い感銘を与える。年輩の人も若い人も，おそらく本書を読むことにより，激動する今日の世代をいかに生くべきかの感慨にひたることだろう。

★お申込みは書店
または直接下記へ

現役の書いた戦記

続・我らかく戦えり

▶「伊良湖」最期の戦闘記録……………海佐 石踊幸雄

▶天山艦攻・雷撃隊奮戦記(続)……………海佐 肥田真幸

▶機動部隊の駆逐艦戦……………海佐 田中健一

新書判 232頁
定価 300円 送料65円

B6判 200頁
上製本 再版
定価 330円 送料65円

海上自衛新聞社
東京都港区六本木4-11-4
電話(408)8826
振替口座 東京52543番